

RT-PCR検査の抗原検査に対する優位性

	RT-PCR検査	抗原定性検査
調べるもの	ウイルスの遺伝子	ウイルスのたんぱく質
検査実施場所	検査機関に搬送して実施	検体採取場所
所要時間	1時間から1日	15-30分
LOD（検出限界）	抗原定性より少ない ウイルス量で検出可能	検出には一定量のウイルスが必要
	10～100コピーで検出可能 極めてよい (使用されている抗体に依存している)	10,000～1,000,000コピーで検出 悪い (市販携帯型)
感度		RT-PCRの1000分の1～10,000分の1*
判定可能時期	発症前～	発症後～
無症状	可	適さない
濃厚接触者	可	適さない
陰性証明書	発行可能	不可※

※ここでは市販の簡易抗原定性検査キットとの比較になります。

- (参考)
- ・ [厚生省HP 無症状者の唾液を用いたPCR検査等について](#)
 - ・ [厚生省HP SARS-CoV-2 抗原検出用キットの活用に関するガイドライン](#)
 - ・ [SARS-CoV-2検出検査のRT-qPCR法と抗原定量法の比較](#)
 - ・ Mak GCK, Lau SSY, Wong KKY, et al. Evaluation of rapid antigen detection kit from the WHO emergency use list for detecting SARS- CoV-2. Journal of Clinical Virology 134 (2021) 104712.
 - ・ Mak GC, Lau SS, Wong KK, et al. Analytical sensitivity and clinical sensitivity of the three rapid antigen detection kits for detection of SARS-CoV-2 virus. J Clin Virol. 133(2020)104684.

コロナウイルスの感染力と検査の検出可能期間のイメージ模式図

